

付議第 2 号

平成 22 年度高知県一般会計等補正予算に係る意見聴取に関する議案

平成 22 年 9 月高知県議会定例会提出予定の別紙議案に係る地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定に基づく高知県知事からの意見聴取に対し、適当であると認めることについて、高知県教育委員会事務委任規則（平成 4 年教育委員会規則第 1 号）第 2 条第 5 号の規定により議決を求めます。

高知県教育委員会事務委任規則

第 2 条 教育委員会は、次に掲げる事務を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

(5) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案について意見を述べること。

平成22年度9月補正予算総括表

教育委員会

(単位：千円)

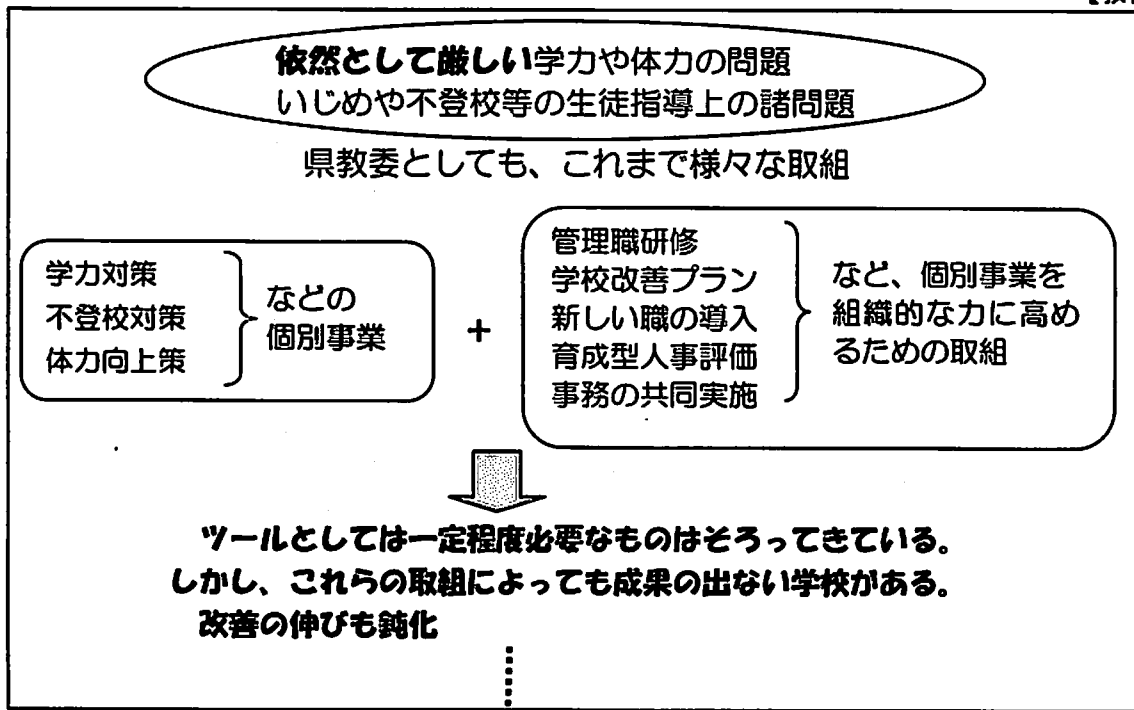
会計	課名	既計上予算額	補正見込額	左の財源内訳		備考
				特定財源	一般財源	
一般会計	教育政策課	435,136	2,837	(国) 1,996 (入) 837 (諸) 4		学校組織診断調査研究事業 1,996 上記事業の業務補助を行う臨時的 任用職員の利用841
	総務福利課	11,366,339	43,163		43,163	公立学校耐震化促進事業費
	生涯学習課	1,182,475	24,750	(入) 22,000	2,750	新図書館等推進事業費2,750 子育て支援図書コーナー設置事 業費22,000
	文化財課	532,174	15,699		15,699	土地取得事業特別会計繰出金
	スポーツ健康教育課	709,691	30,841	(入) 837 (諸) 4	30,000	野球場夜間照明設置特別対策事 業費30,000 全国栄養教諭等研究大会対策費 (臨時的任用職員の利用) 841
	計	90,801,194	117,290	(国) 1,996 (入) 23,674 (諸) 8	91,612	
特別会計	文化財課	10,755	70,837	(国) 55,138 (入) 15,699		地方債元利償還金(高知城西堀 史跡取得に係る地方債の据置期 間を1年短縮して償還を行うた めの経費)
	計	609,752	70,837	(国) 55,138 (入) 15,699		
合計		91,410,946	188,127	(国) 57,134 (入) 39,373 (諸) 8	91,612	

学校組織診断調査研究事業(文部科学省指定事業) 1,996 千円

～高知県の学校経営の改善に向けて～

【教育政策課】

現状

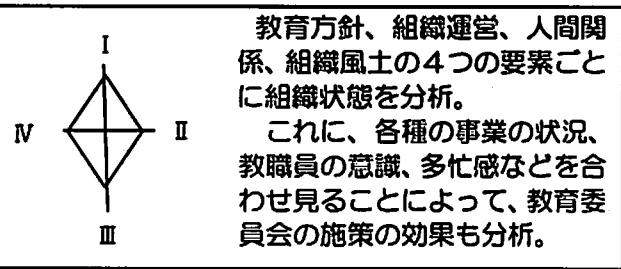


考えられる要因

・これらの施策をツールとして、必要な場面に応じて適切に活用できていないのではないか
・ツールの効果を妨げる別の要素(教職員の風土、士気、意識合わせ等)があって、それが原因となっているのではないか(組織風土の問題)

取るべき対策

「学校経営診断カード」や職員アンケートによって学校の組織状態、教職員の意識の状況を分析



学校・教育委員会各課等でも情報を共有

各学校の状況に応じた施策、対応策が実施可能に。合わせて、校長のマネジメントに対するアドバイザーが学校を巡回して支援訪問を実施。

その他、教職員の業務を支援し、より教育活動に専念できる体制を作るための直接的なツールを追加

住民からの苦情等についての外部相談委員会の充実

高知市との連携により実施

高知市においてH20～H21まで外部相談の調査研究。それを発展させ、外部調停の実践研究を進める。

目指す効果

- ・校長の学校経営の助けとなるもの
- ・各学校・教職員の努力、教委の施策がより成果に結びつく学校の体質へ

伸び悩む本県の教育の改善を再加速

9月補正予算(案)概要(公立小中学校耐震化促進事業費:43,163千円(一))

1 補正概要

◆ 9月補正予算(案)額: 43,163千円(一)

【県補助棟数】当初:13市町村20校38棟 → 補正後:14市町村27校42棟
市町村が実施する公立小中学校建物の耐震化工事等に対して補助する公立小中学校耐震化促進事業費補助金について、国の建築単価の引き上げ、市町村の新規事業の追加等により増額補正を行うもの。

2 補正詳細(3つの要因)

(1) 国の建築単価引き上げに連動する増

◆ 3町4校3棟 : 3,893千円 ※【国の建築単価(改築)】H21:145,400円/㎡ → H22:149,800円/㎡

(2) 補助対象面積の増減による減

◆ 8市町村8校9棟 : ▲44,663千円 ※市町村の計画変更起因する余剰分

(3) 新規事業の追加による増

◆ 6市町村10校11棟 : 83,933千円 ※高知市の特殊事情分含む(下記参照)

【高知市の特殊事情について】

新規事業のうち高知市の2校分(大津小・西部中)については、既に工事着手済であるが、今回新たに県補助対象事業として追加するもの。

これらについては、平成21年度に国庫補助率2/3(Is値0.3未満:第3次診断)として国により交付決定がなされ、今年度に繰り越された後、契約、着工したものであるが、本年7月に国庫補助率1/2(Is値0.3以上:第2次診断)を適用すべきことが判明し、今回、県補助金1/6の予算措置が必要になったものである(以下、参照)。

	採用される(た)診断結果	Is値	国庫補助率	県補助率
国の交付決定時	第3次診断	0.3未満	2/3	-
実際の国庫補助	第2次診断	0.3以上	1/2	1/6

【高知市に県が補助する理由】

高知市によると、一連の国庫補助金の事務手続きの中で、同市と国との間で、適用される国庫補助率など、制度に対する認識の違いがあったことが原因にあり、事情は斟酌できるものと認められた。

その上で、本来、県補助の対象となる事業であることや、耐震化の促進という公益性を踏まえ、特例的に補助を行おうとするものである。(財政当局協議済み)

【参考】平成22年4月1日現在の高知県・高知市及び他県の耐震化状況 ※高知県:全国42位

県・高知市	高知	香川	愛媛	徳島	三重	和歌山	静岡	高知市
耐震化率	61.3%	71.8%	61.9%	64.9%	92.1%	73.7%	94.3%	52.5%

【耐震化が遅れている理由】

- ①市町村の財政状況 県内市町村の財政力指数:0.26(全国最下位・全国平均0.56)
- ②国の建築単価と実工事費の乖離、③統廃合問題(を抱えることによる耐震化への足踏み)など

子育て支援図書コーナー設置事業 22,000千円

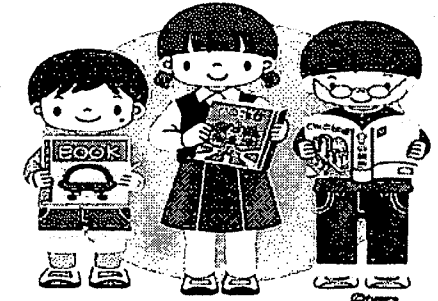
【現状】

- 県内の公立図書館等では子育て関連の蔵書が充実していないため、
- ・子育て中の親や子育て支援活動を行っている人達が子育てについての適切・有用な情報を得ることができにくい
- ・親子で絵本や児童書を読む習慣を身につけることができにくい

【事業概要】

利用者が身近な場所で子育て関連の図書を活用できる環境づくりを進める。

- ①県立図書館に子育て支援図書コーナーを設置
- ②市町村に対して子育て支援図書コーナー設置のための必要図書の貸出
- ③移動図書館を活用して、県内の保育所や公民館、小学校、市町村の図書館などへ子育て支援用図書の貸出



子育て支援図書コーナー設置事業

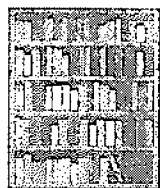
①県立図書館でのコーナー設置 (500冊)

子育て世帯者向けの育児に関する本や、保育者等向けの専門書を購入する。

出産や育児に関する一般書
 保育者等向けの専門書

約500冊

住民向けに直接貸し出す図書を購入して、新たにコーナーを設置



これで育児の悩みが解決できるね

②全市町村でのコーナー設置 (3,400冊)

県内34市町村の図書館等に「子育て支援図書コーナー」を新たに設置し、図書を県立図書館が購入して貸出する。

100冊×34市町村=3,400冊

出産や育児に関する一般書
 絵本や児童書
 保育者等向けの専門書

<備考>人口規模に関わらず、最低限必要な情報が入手できる諸環境を整備する。



県立図書館

市町村立図書館 公民館等

巡回貸出事業

③移動図書館で配本する子育て支援図書の購入(4,500冊)

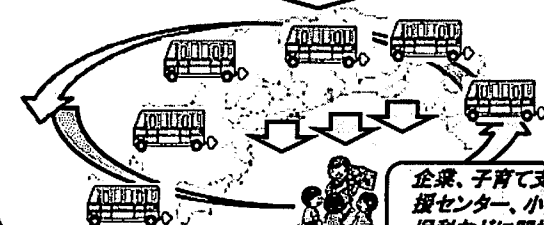
市町村の子育て支援図書コーナーの強化を図るために、県内の保育所や公民館、小学校、市町村の図書館等を巡回し、子育て世帯の利用者や保育所などに、絵本や児童書を貸し出し、読み聞かせボランティア活動などに活用する。

絵本や児童書15,000冊のうち痛みの激しいもの30%を購入



県立図書館

県下を巡回して貸し出し



企業、子育て支援センター、小児科などに間接貸出

新図書館等基本構想検討委員会運営費

2,750千円
((一)2,750千円)

1 現県立図書館の概要

施設等の概要

- ・建築年度 昭和48年(築37年)
- ・延床面積 3,896.1㎡
- ・蔵書冊数 約58万冊
- ・貸出利用者数 43,903人
- ・個人貸出冊数 151,464冊

改築の必要性

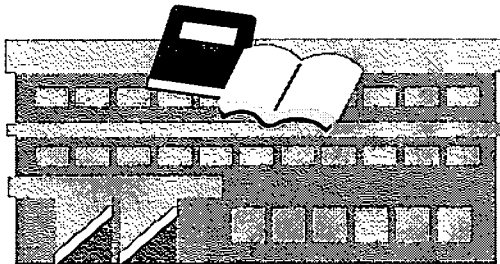
- ・収蔵能力が限界を超えていること(約30万冊の計画に対し58万冊を収蔵)
- ・施設の老朽化が進んでいること
- ・新耐震基準以前の建物であること
- ・バリアフリー対応施設となっていないことなど

2 縣市合築案検討の経過

- ・高知市民図書館も時期を同じくして新しい図書館の整備が必要になっていたこと
- ・平成22年5月から県のワーキンググループにより検討
- ・平成22年8月24日の県市連携会議において、知事と高知市長が高知市立追手前小学校敷地に県市一体型の図書館を整備するための基本構想を連携して策定していくことで合意

3 県市一体型図書館とは

県市二つの図書館が同居するが、一つの窓口で利用者サービスを提供する図書館



面積 13,000㎡(四国最大規模)
蔵書数 205万冊(30年後)

4 県市一体型図書館のメリット

1. 県民市民の利便性が高まります

現時点でも県市合せて約100万冊、開館後は経費節減効果を生かして毎年3万冊(現在の県市合計の1.5倍)を超える図書を整備することができることから、30年後には205万冊の蔵書量を誇る図書館として、ポピュラーな本から専門書まで1カ所で借りられるなど、利用者の利便性が格段に高まります。

2. 県市それぞれの役割が強化できます

直接貸出し等の重複する機能を整理統合し効率化することで、県は市町村支援などの全県的な図書館政策の推進や調整に、市は、直接サービスや分館・分室とのネットワーク機能の充実に、それぞれ特化して取り組むことができます。

3. 新しい付加機能も整備できます

県市がそれぞれ単独で整備した場合に比べ、施設整備費で約1.8億円、運営費で年間1億円程度削減が可能になり、こうした効果を生かして、市町村支援機能などを強化するとともに、こども科学(図書)館などの新たな付加機能の整備も可能になります。

5 基本構想検討委員会の概要等

○ 検討内容

- ・単独整備と合築の比較検討
- ・新図書館のあり方、役割及び機能に関する事
- ・施設及び設備に関する事
- ・建設場所に関する事
- ・管理及び運営に関する事など

○ 委員のメンバー(予定)

- ・全国的に著名な学識経験者
 - ・市町村の代表者
 - ・県内の図書館関係者
 - ・図書館に関し識見を有する者など
- ※県市で1つの検討委員会を組織し、検討してまいります。

○ スケジュール(予定)

- ・平成22年10月中旬～平成23年3月まで検討会の開催予定
- ・平成23年1月 中間報告
- ・平成23年1月中旬～2月中旬 パブリックコメントの募集
- ・平成23年3月 最終報告書

検討プロセスを明らかにし、県民・市民のご意見をお聞きしてまいります!

起債償還計画の変更について

1 起債の目的

高知城西堀史跡（仮称）の購入のための財源

2 起債の償還に対する国庫補助金

国の史跡購入費補助金（8割）の採択を受けて購入、ただし償還期間10年の県債を発行し、各償還年次の元利償還金に対して10年間で補助する条件

3 償還計画の変更

	(現行)	(変更)
借入日	平成20年5月30日	→
最終償還日	平成30年3月30日	→
借入額	569,000千円	→
利率	1.89%	→
償還期間	10年	→
うち据置期間	3年	2年
償還方法	半年賦元金均等償還	→

※ 据え置き期間を1年短縮

4 変更理由

国庫補助の要件：償還期間10年(うち2年据置)に対して

償還期間10年(うち3年据置)で起債発行してしまったもの。

→ 補助要件に抵触するため、予定どおりの補助が得られなくなる。

※ 借入先との約定変更を行い、据え置き期間を短縮して償還することで、国庫補助金の交付要件との整合を図り、補助金確保に支障をきたさないようにする。

5 償還計画概要

(単位、千円)

償還年度	当初計画			変更計画			変更増減		
	償還金			償還金			償還金		
	元金	利子	元利合計	元金	利子	元利合計	元金	利子	元利合計
20	0	8,991	8,991	0	8,991	8,991	0	0	0
21	0	10,754	10,754	0	10,754	10,754	0	0	0
22	0	10,754	10,754	71,120	10,471	81,591	71,120	△ 283	70,837
23	81,280	10,370	91,650	71,120	9,074	80,194	△ 10,160	△ 1,296	△ 11,456
24	81,280	8,834	90,114	71,120	7,730	78,850	△ 10,160	△ 1,104	△ 11,264
25	81,280	7,298	88,578	71,120	6,386	77,506	△ 10,160	△ 912	△ 11,072
26	81,280	5,761	87,041	71,120	5,041	76,161	△ 10,160	△ 720	△ 10,880
27	81,280	4,225	85,505	71,120	3,697	74,817	△ 10,160	△ 528	△ 10,688
28	81,280	2,689	83,969	71,120	2,353	73,473	△ 10,160	△ 336	△ 10,496
29	81,320	1,153	82,473	71,160	1,009	72,169	△ 10,160	△ 144	△ 10,304
計	569,000	70,829	639,829	569,000	65,506	634,506	0	△ 5,323	△ 5,323

高知球場ナイター設備設置について

現状

- ◎本県は、全国で唯一野球場にナイター設備がない
- ◎高知県軟式野球連盟など野球関係者から設置についての強い要望

県民ニーズの高まり



野球ファンの夢実現!



高知球場へのナイター設備の設置

平成22年度：調査設計
 「野球場夜間照明設置特別対策事業費補助金」 30,000千円
 平成23年度：設置工事

- ◎野球関係者は高知球場への設置を望んでいる
- ◎野球観戦者にとって、公共交通の利便性に優れている
- ◎ナイター設置による経済波及効果は高知球場が大きい

ナイター設備設置による効果



県民満足度の向上

- レジャー選択の拡大
- 仕事帰り、家族でのナイター観戦
- する人、観る人、支える人がより楽しく、有意義に



総合的な競技力の向上

- ナイターリーグの開催に伴う競技人口の底上げ
- 野球レベルの向上



全国大会・スポーツ合宿の誘致

- 全国規模の大会や県外団体チームのスポーツ合宿誘致
- 県民の生涯スポーツの普及・振興



高知ファイティングドッグスへの支援

- ナイトゲームの開催・年間20試合程度

スポーツを通じた地域活性化・健康づくり